安全データシート

作成　2008 年 11 月 12 日
改訂　2013 年 12 月 16 日

1. 製品及び会社情報

製品名　: Reaction Buffer Building Set
製品コード　: 314-02471
Kit の構成
①3M KCl
②5M NaCl
③2M Tris-HCl (pH 7.5)
④2M Tris-HCl (pH 7.9)
⑤2M Tris-HCl (pH 8.5)
⑥1M MgCl2
⑦10% TritonX-100
⑧200mM Spermidine-HCl
⑨200mM Hexamine cobalt chloride
⑩60% PEG6000
⑪100mM ATP
⑫1M DTT
⑬2mg/ml BSA
⑭H2O (DNase free, RNase free)

会社名　: 株式会社ニッポンジーン
住所　: 富山県富山市問屋町 1-8-7
電話番号　: 076-451-6548
FAX 番号　: 076-451-6547

2. 危険有害性の要約

①3M KCl（塩化カリウム）について記載
GHS 分類　: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　: 区分 2B
GHS ラベル要素
注意喚起語　: 警告
危険有害性情報　: H320　眼刺激
注意書き
【安全対策】　P264　取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】　P337+P313　眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること
P301+P330+P331　飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

②5M NaCl（塩化ナトリウム）について記載
GHS 分類　: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　: 区分 2B
GHS ラベル要素
注意喚起語　: 警告
危険有害性情報　: H320　眼刺激
注意書き
【安全対策】　P264　取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】　P337+P313　眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること
P301+P330+P331　飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

⑦10% TritonX-100（Triton X-100）について記載

GHS 分類　：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 2A
水生環境急性有害性　：区分 3
水生環境慢性有害性　：区分 3

GHS ラベル要素
注意喚起語

警告

危険有害性情報　：H319　強い眼刺激
H402　水生生物に有害
H413　長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き
【安全対策】　P264　取扱い後はよく手を洗うこと。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P273　環境への放出を避けること。
【応急措置】　P337+P313　眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
【廃棄】　P501　内容物､容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

⑨200mM Hexamine cobalt chloride（塩化ヘキサアンミンコバルト）について記載

GHS 分類　：呼吸器感作性　：区分 1
皮膚感作性　：区分 1
発がん性　：区分 2

GHS ラベル要素
注意喚起語

危険

危険有害性情報　：H334　吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
H317　アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H351　発ガンのおそれの疑い

注意書き
【安全対策】　P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P261　ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
P264　取扱い後はよく眼及び手を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P272　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280　保護マスク、保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
P281　指定された個人用保護具を使用すること。
P285　換気が不十分な場所には、呼吸用保護具を着用すること。
【応急措置】　P363　汚染した衣類を再利用する場合には洗濯すること。
P302+P352　皮膚に付いた場合：多量に水と石鹸で洗うこと。
P333+P313　皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
P304+P314　吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸のしやすい姿勢で休息させる。
P308+P313　ばく露又は、ばく露の懸念のある場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P342+P311　呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
【保管】　P405　施錠して保管すること。
【廃棄】　P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成、成分情報

①3M KCl

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	塩化カリウム
濃度	3M(約 22.4%)
化学特性(化学式)	KCl
CAS 番号	7447-40-7
官報公示整理番号	1-228
危険有害成分	塩化カリウム

②5M NaCl

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	塩化ナトリウム
濃度	5M(約 29.2%)
化学特性(化学式)	NaCl
CAS 番号	7647-14-5
官報公示整理番号	1-236
危険有害成分	塩化ナトリウム

③2M Tris-HCl (pH 7.5)

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	Tris-HCl(pH7.5)
濃度	2M
化学特性(化学式)	データなし
CAS 番号	データなし
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

④2M Tris-HCl (pH 7.9)

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	Tris-HCl(pH7.9)
濃度	2M
化学特性(化学式)	データなし
CAS 番号	データなし
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

⑤2M Tris-HCl (pH 8.5)

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	Tris-HCl(pH8.5)
濃度	2M
化学特性(化学式)	データなし
CAS 番号	データなし
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

⑥1M MgCl2

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	塩化マグネシウム・六水和物
濃度	1M
化学特性(化学式)	MgCl2・6H2O
CAS 番号	7791-18-6
官報公示整理番号	1-233
危険有害成分	特になし

⑦10% TritonX-100

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	Triton® X-100
濃度	10%
化学特性(化学式)	(C2H4O)X･C14H22O
CAS 番号	9002-93-1
官報公示整理番号	7-172
危険有害成分	ﾎﾟﾘ (ｵｷｼｴﾁﾚﾝ) =ｵｸﾁﾙﾌｪﾆﾙｴｰﾃﾙ

⑧ 200mM Spermidine-HCl

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	スペルミジン･三塩酸塩
濃度	200mM(約 5.1%)
化学特性(化学式)	C7H19N3･3HCl
CAS 番号	334-50-9
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

⑨ 200mM Hexamine cobalt chloride

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	塩化ヘキサアンミンコバルト
濃度	200mM(約 5.4%)
化学特性(化学式)	[Co(NH3)6]C13
CAS 番号	10534-89-1
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	塩化ヘキサアンミンコバルト

⑩ 60% PEG6000

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	ポリエチレングリコール
濃度	60%
化学特性(化学式)	H(OCH2CH2)nOH
CAS 番号	25322-68-3
官報公示整理番号	7-129
危険有害成分	特になし

⑪ 100mM ATP

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	ｱﾃﾞﾉｼﾝ5'-三ﾘﾝ酸二ﾅﾄﾘｳﾑ三水和物
濃度	100ｍM
化学特性(化学式)	C10H14N5Na2O13P3･3H2O
CAS 番号	51963-61-2
官報公示整理番号	9-48
危険有害成分	特になし

⑫ 1M DTT

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	(±)－ジチオトレイトール
濃度	1M
化学特性(化学式)	C4H10O2S2
CAS 番号	3483-12-3
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

⑬ 2 mg/ml BSA

化学物質・混合物区別	混合物
化学名または一般名	アルブミン
濃度	2mg/ml
化学特性(化学式)	データなし
CAS 番号	9048-46-8
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

⑭ H2O (DNase free, RNase free)

化学物質・混合物区別	化学物質
化学名または一般名	H2O (DNase free, RNase free)
化学特性(化学式)	H2O
CAS 番号	7732-18-5
官報公示整理番号	データなし
危険有害成分	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	：多量の水で洗い流す。炎症を生じたときは医師の診断、手当てを受けること。 ⑨：汚染した衣類を再利用する場合には洗濯すること。
目に入った場合	：直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。 ⑦⑧⑨：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに眼科医の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	：データなし

5. 火災時の措置

消火剤	：粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	：特になし
火災時の特有危険有害性	：火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	：火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	：作業の際には適切な保護具を着用する。こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
環境に対する注意事項	：①②③④⑤⑥⑩⑪⑬⑭： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 ⑦⑧⑨⑫：環境中に排出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	：漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
- 技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
- 安全取扱注意事項：漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
  使用後は容器を密閉する。
  取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
  指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
  取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
  容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
  適切な保護具を着用する。
- 接触回避：「10. 安定性及び反応性」参照

保管
- 適切な保管条件：-20℃にて保管する。
- 技術的対策：特になし
- 混触禁止物質：「10. 安定性及び反応性」参照
- 安全な容器包装材料：ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度　ACGIH(TLV)：データなし
　　日本産業衛生学会：設定されていない
設備対策：蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具
- 呼吸器の保護具：保護マスク
- 手の保護具：保護手袋
- 目の保護具：保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）	：①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭：無色透明	⑨：橙色の液体
臭い	：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑬⑭：無臭	⑫：DTT 独特の臭い
pH	：①②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭：データなし	
	：③：pH7.5　④：pH7.9	⑤：pH8.5
融点・凝固点	：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬：データなし	⑭：0℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬：データなし	⑭：100℃
引火点	：データなし	
燃焼又は爆発範囲(上限･下限)	：データなし	
蒸気圧	：データなし	
比重(相対密度)	：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬：データなし	⑭：1.00 (4℃)
溶解度	：水と混合する	
n-オクタノール/水分配係数	：データなし	
自然発火温度	：データなし	
分解温度	：データなし	

10. 安定性及び反応性

反応性	：データなし	
化学的安定性	：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる	
危険有害反応可能性	：データなし	
避けるべき条件	：日光、熱	
混触危険物質	：①②③④⑤⑥⑦⑩⑪⑫⑬⑭：データなし	⑦⑧⑨：強酸化剤
危険有害な分解生成物	：①②③④⑤⑥⑦⑩⑪⑫⑬⑭：データなし	
	：⑧：窒素酸化物、アンモニア	
	：⑨：塩素、塩化物、コバルト化合物、一酸化炭素、窒素酸化物	

11. 有害性情報有害性情報

①塩化カリウムについて記載。

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50}：3020mg/kg(SIDS) 含有量が約 22.4%の為 13000 mg/kg 以上となり区分外である。
	：経皮　データなし
	：吸入　データなし
皮膚腐食性･刺激性	：ヒトの Chamber-scarification test で、刺激性の記述があるが、一般的でない試験法であり、刺激性の程度も記録されていないため分類できない。(JETOC)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：眼刺激　ウサギ 500mg/24H 軽度 (RTECS) ウサギの試験で、適用 24 時間後の観察で"mild reaction"と評価されている。(JETOC)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし
生殖細胞変異原性	：データなし
発がん性	：データが不十分。なお、ラットの 2 年間経口投与試験では発がん性を示唆する所見は認められていないが、1 種の動物のみのデータでは分類に不十分。(JETOC)
生殖毒性	：妊娠ラットおよびマウスの器官形成期に経口投与した試験で仔の発生に悪影響は認められないが、親動物の性機能または生殖能に関してデータが不十分。(JETOC)
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：ラット雄の 2 年間経口投与試験で、唯一の影響は、刺激性としての胃炎のみで NOAEL は 1820mg/kg/day。また、ラット雌の 5250mg/kg/day を 105 日間経口投与した試験での影響は全て回復性であり重大な毒性影響はない。これらの用量はガイダンス値区分 2 上限を超えている。なお、ヒトで 85mg/kg/day を 4 週間、69mg/kg/day を 6 週間の経口投与により悪影響がなかったことが報告されている。(JETOC 推定) （区分外）
吸引性呼吸器有害性	：データなし。

②塩化ナトリウムについて記載。

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50}：3000mg/kg(RTECS) 含有量が約 29.2%の為 10000 mg/kg 以上となり区分外である。
	：経皮　データなし
	：吸入　データなし
皮膚腐食性･刺激性	：皮膚刺激　ウサギ　500µl/24H　軽度　（区分外）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：眼刺激　ウサギ　100mg/24H　中程度（区分 2B）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし
生殖細胞変異原性	：データなし
発がん性	：データなし
生殖毒性	：データなし
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし
吸引性呼吸器有害性	：データなし

⑦Triton X-100 について記載。

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50}：1800mg/kg(RTECS) 含有量が 10%の為 18000 mg/kg 以上となり区分外である。
	：経皮　データなし
	：吸入　データなし
皮膚腐食性･刺激性	：皮膚刺激　ウサギ　500µl/24H 軽度　（ 区分外）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギの眼に試験物質の 10%液を 0.1ml 適用した試験（OECD TG405）において、刺激性（角膜混濁、虹彩炎、結膜の発赤と浮腫）が認められたが、症状は全て適用後 7～21 日にほぼ回復し、MMAS（AOI に相当）= 68.7 であった (ECETOC TR 48(2)(1998))。区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし
生殖細胞変異原性	：データなし
発がん性	：データなし
生殖毒性	：データなし
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし
吸引性呼吸器有害性	：データなし

⑨Hexamine cobalt chloride　について記載。

急性毒性	：経口　データなし
	：経皮　データなし
	：吸入　データなし
皮膚腐食性･刺激性	：データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：コバルト化合物について
	呼吸器感作性　：気管支喘息等　(厚生労働省：コバルト及びその化合物有害性評価書) 区分 1
	皮膚感作性　：アレルギー性接触皮膚炎等　(厚生労働省：コバルト及びその化合物有害性評価書) 区分 1
生殖細胞変異原性	：データなし
発がん性	：コバルト化合物について
	IARC　：グループ 2B（ヒトに対して発がん性がある可能性がある）
	ACGIH　：A3（動物発がん性物質）
	日本産業衛生学会　：「第 2 群 B」人間に対しておそらく発がん性があると考えられる物質（証拠が比較的十分でない物質）
	区分 2
生殖毒性	：データなし
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：本物質のデータはないが、コバルトの吸入ばく露による肺への影響（変性、間質性肺炎、X 線像異常、肺機能異常など）はヒトで多く報告されている (厚生労働省：コバルト及びその化合物有害性評価書)。また、ヒトの症例で硫酸コバルトの反復による摂取で心筋症で死亡した例が報告されており (CICAD 69 (2006))、動物実験においても、金属コバルト、塩化コバルト、硫酸コバルトなどの吸入ばく露で肺障害、心臓障害、気管支への影響、胸腺への影響、そして喉頭部への影響など数多く報告されている (厚生労働省：コバルト及びその化合物有害性評価書)。含有量が 10%以下の為、区分とする。
吸引性呼吸器有害性	：データなし。

12. 環境影響情報

①塩化カリウムについて記載

生態毒性	：魚類（ファットヘッドミノー）　LC50 =880mg/L/96H
	甲殻類（ネコゼミジンコ）　LC50 =177mg/L/48H (SIDS, 2005)
	水生環境慢性有害性：区分外
残留性・分解性	：データなし
生態蓄積性	：難水溶性でなく(対水溶解度：35.5 g/100ml (CRC handbook of Chemistry and Physics 89th edition))
	難水溶性でなく、生態毒性が低いため、水生環境慢性有害性は区分外とした。
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

②塩化ナトリウムについて記載

生態毒性	：データなし
残留性・分解性	：データなし
生態蓄積性	：データなし
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

⑦Triton X-100 について記載。

生態毒性	：魚類(ブルーギル)　LC50 =3mg/L/96H(ECETOC TR91, 2003) （区分 2）
	含有量が 10%の為 30 mg/L/96H となり　水生環境慢性有害性：区分 3
残留性・分解性	：分配係数　log Po/w:4.86 (Data from SRC PhysProp Database)
	急速分解性がない (BIOWIN)
生態蓄積性	：データなし
	急性毒性が区分 3 であり、急速分解性がないため、水生環境慢性有害性は区分 3 とした。
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

⑨200mM Hexamine cobalt chloride について記載

生態毒性	：データなし
残留性・分解性	：データなし
生態蓄積性	：データなし
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	：①②③④⑤⑥⑩⑪⑬⑭： 水で希釈し、流して処分する。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 ：⑦⑧⑫ 可燃性溶剤と共にスクラバー及びアフターバーナーを具備した焼却炉で焼却する。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 ：⑨ 固化隔離法：スクラバーの付いた焼却炉で燃焼後、コンクリートで固化し埋め立てる。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

Triton X-100 について記載

国連番号	：3082
品名	：環境有害物質、液体、その他に品名が明示されていないもの。
クラス	：9（有害性物質）
容器等級	：Ⅲ
海洋汚染物質	：該当
国際規制	
海上規制情報	：IMO の規定に従う。
航空規制情報	：ICAO/IATA の規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	：消防法の規定に従う。
海上規制情報	：船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	：航空法の規定に従う。
特別の安全対策	：輸送の際には、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み荷崩れの防止を確実にする。

15. 適用法令

塩化カリウムについて記載

消防法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：危険有害化学物質 （規則第 24 条 14） 特定危険有害化学物質 （規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法(PRTR 法)	：非該当

塩化ナトリウムについて記載

消防法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：危険有害化学物質（規則第 24 条 14） 特定危険有害化学物質（規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法(PRTR 法)	：非該当

Triton X-100 について記載

消防法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：危険有害化学物質（規則第 24 条 14） 特定危険有害化学物質（規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法(PRTR 法)	：第一種指定化学物質 No.408

塩化ヘキサアンミンコバルトについて記載

消防法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：危険有害化学物質（規則第 24 条 14） 特定危険有害化学物質（規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法(PRTR 法)	：第一種指定化学物質 No.132

16. その他の情報

・引用　独立行政法人　製品評価技術基盤機構　nite　HP　GHS 分類結果
http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html
化学物質総合情報提供システム　Chemical Risk Information Platform (CHRIP)
http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces
厚生労働省　職場安全サイト　HP　化学物質
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/kagaku_index.html
国際化学物質安全性カード(ICSC)
http://www.nihs.go.jp/ICSC/
厚生労働省　化学物質のリスク評価検討会報告書
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001iz7t.html
原料試薬供給先から提供された SDS

＊本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
＊新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
＊記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
＊特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください